

〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕

担当課・係名	環境課ごみ対策係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号）	172】
第4次総合計画の 該当項目	2節4項 <input type="text" value="廃棄物リサイクル"/>	

業務の名称	ごみの収集、運搬業務に関すること		
(1) 根拠法令・条例	廃棄物の処理及び清掃に関する法律・長久手町廃棄物の処理及び清掃に関する条例・同規則		
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>35</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>11.6</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u> </u> 人・日)		
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>91,805</u> 千円 (平成20年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))		
(4) 補助率(補助金がある 場合のみ記載)	<u> </u> % (平成20年度実績)		
(5) 業務期間	開始した年度	昭和42年度	終了(予定)年度 未定

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

① 業務目的 (達成目標)	町民が収集時間を守り、衛生的にごみを回収できること。
② 業務が対象とする住民 (地域、層)	町内全域
③ 業務の具体的な実施内容・方法 (平成20年度実績)	ごみ収集及び運搬業務 プラスチック製容器包装収集及び運搬業務 ペットボトル店頭回収業務

道路等の緊急工事にも迅速に対応し収集運搬業務を行った。

【業務結果の説明指標】 (千円)

結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標
1	プラスチック製容器包装業務委託	1473	4830	4830	5145	—
2	ごみ収集及び運搬業務委託	93366	91550	92505	62344	—
3	ペットボトル店頭回収業務委託	4935	670	546	336	—
4						
5						

④ 業務の実施結果 (平成20年度実績)	
----------------------	--

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (簡条書きで簡潔に記載)

- ◎人口増によるごみ総量の増加
- ◎家屋増加による収集ルートの特長

(8) 改善実績 (過去4年間の実績)	
① カラス等に荒らされた散乱ごみの清掃が直営および業者の収集時にされるようになった。	
② 収集ルートが増えても良好に達成されている。	

(9) 業務の評価 (自己診断)		
評価基準	評価の視点	三段階評価 (2~0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	2点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	1点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	1点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	2点
⑤総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	1点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	2点
2点: 成果あり、適切だった 1点: ある程度適切だった 0点: 適切でなかった、遅れている		平均 1.5 点

(10) 総合評価 (課の見解)	
①今後の方向 (該当番号に○印)	<ul style="list-style-type: none"> ①. 前年度と同じく、そのまま継続する。 ②. 見直して継続(業務の拡大) ③. 見直して継続(業務の縮小) ④. 見直して継続(方法の改善) ⑤. 見直して継続(他業務と統合) ⑥. 廃止する。 ⑦. 休止する。
③ 価理由	毎日、適正に収集がされたか報告義務をさせている。問題があれば即時に解決するようにしている。

(11) 今後の目標・改善方針 (具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)	
① 改善目標	資源化の推進により、ごみ量の軽減を図り、収集量を減らす。
② 改善時期	日々、研鑽に励み、良い施策があれば、検討して行動に移しますb。
③ 改善方法	住民に対し、ごみの分別、古紙・雑がみ等の資源化を積極的うったえ、ごみ減量を図っていく。